
解体新書
#2
MOTHER

MOTHER

the living dead tour 2012

tour dairy

2012.10.27

MOTHER presents "First Meeting Agreement vol.3" MOTHER「the living dead」release party

立命館大学衣笠キャンパス学生会館 1F 小ホール

OPEN 12:30 START 13:00 charge ￥1000

w / birth / PLAY DEAD SEASON / Rebel one excalibur

document not found /room / the lions / theorem

ピアノガール / nim

ツアー初日。我々MOTHER の初正式音源である「the living dead」レコ発イベント@立命館大学。数々の凄まじいライブが行われたこの地でイベントを組めることは本当に誇りに思うとともに、思い入れは尋常ではなかった。

まず、前日の会場の設営からこのイベントは始まった。メンバーと数人の友人とともに機材を運び込んだり音響設備の準備をしていると、theorem ガクさん、そして前のりしていた room カネシマさん、document not found フクサトさんが顔を出してくれました。すごく嬉しかったし、みんなでああでもない、こうでもないと音作りやステージの配置などを考えている時に、自分がまだこのバンドをやっていない時に大学でのイベントの手伝いをしたことを思い出し、これこれこの感じだよってなって胸が熱くなった。そして、こういう繋がり、触れ合いがほしくて大学でイベントをやるんだよなってことを再認識した。じゃなけりゃ音響設備も整ってないし、アクセスも悪い大学でイベントやってられますかって話ですよ。

そして、迎えた当日。朝からメンバーで集合し、全員寝ぼけ眼で作りかけだったジンの組み立ておよび梱包作業。そうこうしているうちに続々と出演者が集合し、気持ちがどんどん高まっていく。本当に好きな、というか単純に好きなだけでなく、強すぎるぐらい思い入れのある

バンドがよくこれだけ集まってくれたなというのを改めて噛み締める。

いよいよ一発目 nim でライブ開始。最高の形でイベントスタート。ここから全バンド細かくライブレポを書きたい気持ちもあるが、やはりあの空気感、熱量っていうのはあの場にいた人だけで完結させたいという思いもあるし、何より書くことあり過ぎて字数もエライことになりそうなので割愛。とにかくラストの僕らまで本当に全バンド壮絶で一気に時間が過ぎ去って行ったように感じた。そして、イベント終了し撤収作業、本当に嬉しいことに多くの人の手助けがあり一瞬で撤収も終わった。

そして、打ち上げ！これまた書きたいことありまくるけど、字数が…。とりあえず、全裸になる人(某Mバンド、某bバンド、某Pバンド、Rebel one excalibur)がいたり、チン毛が燃え狂ってる人(Rebel one excalibur)がいたり、外で突然消えたかと思えば高台から飛び降りようとしてる人(Rebel one excalibur)がいたりとクソほどにカオスだったことだけは伝えておきたい。みんな自由過ぎましたね。本当に準備から打ち上げまで最高なイベントだったけど、反省点がゼロかと言ったらもちろん嘘になる。最高な一日だと感じるとともに同時にまたリベンジがしたいとも思える日となった。

イシカワ ユウキ

2012.11.04

DENOMI presents"Just a Beginning

～MOTHER "the living dead" Release tour!!～"

小倉 MEGAHERTz

OPEN 18:00 START 18:30 adv ¥1000 door ¥1000(+1drink)

w / DENOMI / powd /HALAS pauses in the dark of hope. / she's So Square

11月3日、深夜、我々MOTHERはツアー2本目の地・北九州へと向かっていた。車内には、本ツアーにて何度もドライバー・スタッフとして協力してくれている前田さんと俺達の5人。下関に到着する朝方まで、車内ではくだらない話から、真剣な話まで語り明かしていた。まず、北九州という地は、1000travels of jawaharlalやinfro、strange over the sun、4hou8pou、test musterd disco、SLYDING MANなどのバンド、最近繋がれたDENOMIやHALAS~のような兄弟分的存在のバンド、そして、そういったバンドを支えるimomushi recordsやflower of carnage、missing you is killing me等のレーベルやディストロ等の存在から、俺達のイメージや人の言葉を聞いて自分達が考える理想のシーンがそこにはあると信じており、そういった地に呼ばれ、ライブが出来ることへのこの上ない幸福な気持ちがあること。そして、俺達だけではなく皆が大好きな京都の兄弟分的存在のバンドが今年の始めに分解してしまったこと、そのこともあって俺達はそのバンドの精神性や価値観を背負いながら、孤独に半年間、京都という地で戦いつづけたこと、そのバンドの想いを俺達が北九州までこの手で届けるつもりで北九州に向かっていること。俺は生まれが北九州であることだったり、そのことの他にもたくさんの想いがあり、緊張と興奮であまり寝れなかった。

翌朝、小倉に到着し、所謂「スーパー銭湯」で湯に浸かったり、ドンキホーテで物販のハンガーや備品を購入したりして会場入りまでの時間を潰す。早速、本ツアーのために友人から借りたハイエース（10人乗り・燃費の悪さにはかなりの定評があり、修理から返ってきたばかり）をドンキホーテの駐車場内でこするアクシデント発生。会場となる小倉メガヘルツの前に着くと、この日の為にドラムセットを持ち込みで用意してくれていたSLYDING MANのダイスケさんに遭遇し、会場入り。会場内には今回の企画者であるDENOMIのメンバーが設営をしており、挨拶をし、ダイスケさんや手が空いた人らで近くの皿うどんの店で飯を食いにいく。海外の激情バンドをkillieやoto rcordsで招待した時のツアー北九州場所の思い出などを

聞かされているうちにオープン時間に。当日、今は小倉に住んでいる高校時代の女のツレと友達達が観に来てくれていたので、スタートまでに談笑する。ライブの出来はまあまあ。HALAS~と DENOMI がやはりかっこよかった。音源と T シャツがかなり売れる。京都ではなかなか見ない光景だった。お客さんと話したり、MOMO さんのディストロで普段見かけない 7 インチやテープを買ったり、終わった後も皆でワイワイしながら、機材を搬出して打ち上げへ。ようやく北九州に想いを落とすことが出来た。

オオツカリョウタ

2012.11.11

BIGNOSE×Impluse records presents"BIGNOSE FEST"

京都 METRO

OPEN 12:00 START 12:30 adv ¥2000 door ¥2500(+1drink) テイシャツ付きチケット

¥3300+1drink¥500

w / nim / forget me not / A.O.W / bacho / curve / COHOL / Liaroid Cinema / LABRET / LOW-PASS waterweed / orion / sewi / the anchors / Vision of Fatima / none but air / 裸体

私事ではあるが、その日はほかのバンドでライブがあり BIG　NOSE には途中参加させていただいた。最初からその場に入れなかったのは本当に残念です。BIG　NOSE の主催者であるノンちゃんさんと井川さんには本当に感謝しています。Mother のメンバー全員がこの日のイベントは印象的であったことは間違いないと確信できるほど、このライブイベント全体の力強さを感じた。その場でしか味わえない高揚とした空気感はやはり BIG NOSE という素晴らしいイベントが続けられていたからである。そして、Mother にとって BIG NOSE に出るのは特別なことでもある。今回で二回連続の出演となるが、思い返してみれば、バンドを初めて

BIG NOSE に出るのが最初の Mother の目標だった。今回また出演させていただくことになり、初心にかえって演奏すること、演奏することに対する楽しみやイベントをお客さんと盛り上げていく立場としての責任をもう一度思い出しながら演奏することができた。そして、その日のライブがこれまでの Mother のライブの中で最も強烈なライブができたとメンバー一同感じている。Mother というバンドでの一体感と、その巻き込むようなある意味異様な感覚は今まで味わってきたライブと一線を超えた物があった。というかサーカスみたいだった。個人的にはそれが変に心の隅に引っかかっていて、そこに何か大事なものがあるんじゃないかと確信している。このイベントが Mother にとって特別なものではあるが、それだけでは語れない何かをひめていたように思う。それは未だに何が Mother をそうさせたのかはわからないが、それを見つけるのはこのツアーを通して見つけられればと願っている。今回このライブに出させてもらったことで、Mother 全員が何かの心の変革を遂げ、新しい一歩を踏み出すには重要なことを気づく一日になった。それを探す「旅」という風に考えるならば、今後のツアーをもっと有意義に、そしてちょっと厨二っぽいロマンチックな「旅」になるんじゃないかと思う。今後のツアーの楽しみができて、いい一日になったと思った。

コイズミユウキ

2012.11.18

This Time We Will Not Promise And Forgive presents"DAINI DOYOHB! vol.6"

高円寺アフタービート 301st

OPEN 19:00 START 19:20 adv ¥900 door ¥900

w / This Time We Will Not Promise And Forgive / THE SUNSET BOULEVRAD

前日深夜、シャチョウがベロベロに酔っ払い「車に乗りたくない、明日新幹線で会場まで行

く」等と意味のわからんことを頑なに主張し、遅れて京都を出発。マジで大変だった。

今回もドライバーをしてくれた前田さんのずば抜けたドライヴィング・テクにより、正午あたりに高円寺到着、タイ料理を食らい、銭湯でお湯に浸かっていると、なんとかシャチョウも間に合い会場となるアフタービートへ機材を運ぶ。会場へ着くと、this time~の god of チャラ男・池さんが一人で設営をしていた。この時点でもう既に笑わせすぎ。そんなこんなで談笑していると、this time~のメンバーも続々と集まってくる。今回の音源のアートワークを担当してくれたフミヲさんも来てくれていたり、elica のメンバーとも年明けの企画以来の再会だったり、というよりお決まりの皆がやはり来てくれていて嬉しかった。そんな感じでいつのまにかスタート、一バンド目の THE SUNSET BOULEVRAD は音源を聴いていてすごく楽しみにしていたんだけど、期待を軽く上回るライブだった。やはり、佐々木さんのドラムに目が行く。で、二番手俺ら。セッティング中から横で吉武さんがいつもになくはしゃいでて、キャラの変化（俺が会うときはいつもカッコつけててアニキ感出してて緊張してしまうくらいクールぶってる）に戸惑った。そしてやっぱり異様に良い匂いがした。俺らはそこそこ良いライブが出来た。で、いよいよ this time~。今年初めの共演以来、就活中の最終面接の直前でも、何気ない移動中でも、いろんな大事な場面でとにかく聴き狂っていたのでこの瞬間が待ち遠しかった。やはり、ライブは最高。感服。池さんと吉武さんの MC で改めて DIY だったりこういった場所でのライブで大切にするものが何かを考えた。

俺は悲しいことに、人と人は本当の意味では解り合えないと思っている。バンドとお客さんの間にある垣根を完全に無くすことも出来ないとも思っている。それでも俺達が俺達なりのインディペンデントを貫き通して音楽を通して自分と、人と向き合う理由は、少しでも解り合い、そこから関係を築きながら垣根を無くしていきたいからだとも思っている。だからこそ、この日、残念な出来事もあったし、これからもそういったことがあると思う。それでも、特にこう

いった場では、観に来てくれた人がバンドや仲間とその第一歩を踏み出して関係を築くには適していると思うし、バンドにとってもそうだと思う。俺らは観に来てくれた人と話がしたいし、距離を置きたいとは全く考えていない。変に見放したり、傷つけるのは絶対に嫌だからこそ、これを呼んでくれた人にも伝わってほしいと思う。池さんの後輩のラッパーがこの日観に来てくれていて、全く人間性も考えも予測できない人からでも「マジ超感動したっす〜」って言ってもらえるのは本当にうれしいから。まじでラッパーだったけどな。

打ち上に観に来てくれた人達も大勢参加してくれて本当に楽しかった。池さんと俺は自分の話しかしてなかった。そして観に来てくれた子で終電なくなった子をウチのハイエースで送り届け、京都へ帰った。

オオツカリョウタ

2012.11.23

TheHybridChaoz presents"CURVE&MOTHER レコ発"

徳島大学　常三島キャンパス　GREENS 練習場（体育館２階）

OPEN 11:45 START 12:00 adv ¥0 door ¥0

w / TheHybridChaoz / curve / LiaroidCinema / HALO / ニューメリカルコントロール / Letrica

11 月 23 日、the hybrid chaoz (the hybrid chaoz は非常に残念ながら出演できずでしたが)に呼ばれての徳島大学でのライブ。ライブハウス以外でイベントをやる楽しさ、大学でのライブの楽しさを十二分に知っている我々は胸が非常に高鳴る中、前日の深夜に京都を出発した。ドライバーは安定の前田さん（me.we）とケンタ君（resistance）であった。

四国というのはやはり近く、だいぶ早く着くことが出来た。コンビニの駐車場にて車内で仮眠

をとることに。そして、会場入り。機材を運び込んだ後に僕と大塚氏、前田さんで風呂へ。会場から近いと聞いていたが、わりと遠く、さらにイベント自体がかなり巻きで進んでいたこともあり、再び会場に着いたらもう、自分達の出番直前であった。しかも、物販を展開してはならず、気になる人はバンドの人に直接声をかけるという少々謎な状況でイベントが進んでいたらしい。う～ん。という中で、自分達もライブを終えた。そののちに交渉をし、結局物販は展開してよいことになった。恐らく大学側に金銭のやり取りを禁じられていたため、そのような対応をとったものと思われるが、大学でイベントをやる以上多くの制約、不自由さがあるのは当然のことだし、その中でイベントをスムーズに行うというのは非常に難しいことであるのは良くわかる。我々もレコ発で同じようなことを感じたわけだし。こんな風に書くと企画者への単なるディスのように思われてしまうかもしれないが、そんな気はさらさらない。むしろリスペクトの心がなかったらこんなこと書くわけがない。本当にどうでもよかったら、適当に楽しいイベントでしたって嘘を書けば済む話だし。とにかく、我々の大学とはまた条件が違い、先人たちの恩恵も少ない中で切り開きイベントを開催したことはものすごいことであると思うし、なにより多くの出会いのきっかけになってくれた企画者にはやはり感謝でしかない。

打ち上げはこの日から次の日の香川まで二日間を共にする、我々MOTHER、wakamiya、liaroid cinema、curveでとにかくグループが出まくっていて楽し過ぎた。しかも、そのグループを保ったまま四バンドで井川さんaka社長の家に泊まるっていうんだから、もう完全に修学旅行状態であった。あんな楽しいときはこれから先、生きていてもなかなか味わうことが出来ないんじゃないかな。

イシカワ　ユウキ

2012.11.24

impulse records presents

香川 高松 BLOWIN'BAR

OPEN 19:30 START 20:00 adv ¥1500 door ¥2000

w / curve / Liaroid Cinema / madpress / wakamiya

11月24日四国ツアー二日目は愛媛県にある井川さん宅にて起床。この日は会場である高松ブローウィンバーのopen/startが遅くリハーサルもなかったため、ゆっくりとライブまでの時間を過ごすことができました。12時ころには全員目覚め、出発の準備をして、井川さんおすすめの香川県丸亀市にある下山うどんを目指し愛媛をあとにしました。道中、昨夜は気づくことのなかった紅葉、山間の景色に感動を覚えつつ、ひた走ること約2時間、到着した小屋は周囲を田園と山に囲まれ自然あふれる風景に似合わず、大きな駐車スペースには隙間なく車が停まり、店先には人が行列を成していた。うどんはとても美味しく、四国の空気も相まってか想像以上の満足感を得ることができました。今回四国を共にしたLiaroid Cinema、wakamiya、curve、MOTHERは普段、四国以外で生活している。地元ではないし、この様なスポットを知るはずもない。普通ならば暖かい寝床もそれぞれとのバンドの交流も景色や風土を楽しむ余裕もこの地で用意されているはずのないものであると思う。それらを何気なく提供し僕達にチャンスを与えてくれた井川さんの気遣いに感謝し、見習わなければならないところであると今感じている。お金だけで成り立っているわけではない、このシーンにおいて膨大な人脈と信頼関係を築くことができるという難しさ、大切さ、意味について個人的に考えさせられるうどん体験となりました。その後、我々はwakamiyaと一風呂浴びて当日の目的を果たすべく高松ブローウィンバーへ。イベント中、フロアには出演者同士の一体感が伝播したかのようにお客さんも一緒になって盛り上がり昨日に比べ各バンドいい意味でほぐれていて、それぞれの持ち

味を発揮したライブをすることができていた。特に印象深いのはLiaroidCinemaのライブでした。矢田貝氏のマイクは空中を乱舞し、会場を縦横無尽に駆け回り、お客と触れあい、ぶつかり合いのお祭り状態。こういった会場でないと経験できないことがあると再認識させられました。MOTHERは、僕のシールドが演奏終盤で引っこ抜けてしまったことが悔やまれる。クソすぎ。大塚とwakamiyaエイタくん、curveカッチンさん、LiaroidCinemaぺぺさんら（通称team PACO-PACO）はこの日も女子と戯れていて、大塚が関西から来てくれていた女の子が帰りのフェリーを逃したのを聞いて京都までウチのハイエースに同乗させ送り届けるというチンコプレーを炸裂させる。クソすぎ。

テラダコウジ

2012.11.25

weave presents"the spelling of my solution vol.8"

横須賀pumpkin

OPEN 17:30 START 18:00 adv ¥2000 door ¥2300

w / weave / BLACK BUCK / stereotype / season

深夜、女の子を京都まで送り届け、前田さんがここで明日の予定があるため離脱、代わりに入谷（creap.っていうMCだけで全国に名を轟かせるバンドのベース）が車に乗り込み出発。入谷はweaveがとにかく観たいらしくついてきた。ケンタさんもBLACK BUCK、seasonが本当に楽しみらしくそんな会話を車内でしていた。

当日昼に横須賀到着。早くも外国人の多さに驚く。飯は何にしようか考えていると、ネイビーバーガーを屋外で売っている女の子に話しかけられる。その子は高校一年生らしく、一家で店を経営しているので休日はこうやって部活もせず店の手伝いをしているみたいだ。その清き

心に感服。「学校がない日くらい彼氏と遊ばないの？」って俺が遠回しに彼氏いるのか聞くと、「彼氏はまだ早いかな〜」だってさ。最高。入谷は本気でドキドキしていた。そして全く関係ないインド料理屋で昼食をとった。

昼飯を食い、会場となるpumpkinへ機材搬入。weaveがリハをしておりそこで再会。後列が既に老けている。俺らもリハを終え、褒さんに「気まずい銭湯」を案内される。店内に入ると受付のおじいちゃんがあたふたしている。料金が（確か）460円で、500円を差し出すとおじいちゃんが「え〜…460円の、40円だから……おつりは460円か……」と460円を渡してきて「おじいちゃん、ちがう！おつりが40円！」って何度言っても「う〜〜〜ん…40円だから……おつりは460円か……」と拉致があかない。俺は仕方がないし、丁度になるよう髭剃りを購入。みんな後ろめたそうに40円で入っていた。そして髭剃りの刃が古く、俺は血まみれになる。かなり気まずい銭湯だった。

そんなこんなで時間を潰しているといつの間にかオープン時間に。やはり、お決まりの皆が観に来てくれていて嬉しかった。stereo typeが四月京都で観たときより更に円熟していてよかった。seasonも高校時代からずっと観たくて待ちわびていたので本当によかった。で、俺ら。かなりいいライブをしたと思うんだけど、それはあの空気をつくってくれたweaveのおかげだと思っている。バンド企画っていうのは、当日のイベントのコンセプトはもちろん、出演バンドとタイムテーブルに至るまで、バンドがそのストーリーを作るからこそその時にしか観れない特有の空気感があるもんだと俺は思っている。今ツアーもバンド企画が中心だし、俺らも何度も企画を打っているが、まさに手本となる企画をweaveは成し遂げていた。weaveとは相思相愛の関係だからこそ、俺らもかなりセットリストにはこだわったし、MCも感情的になってしまったし、レコ発を組んでもらった立場としてしっかりと使命を果たせたと思っている。次は京都で迎え撃つことを心に決めたほど、weaveがいいライブをしていた。

物販の売れ行きも尋常じゃなく、打ち上げもやはりweaveらしいものだった。途中、デルタマーケットへ行き、宮島さん（my name is.../eye/デルタマーケット）に挨拶、当日来てくれていたハヤタさん（eye/デルタマーケット）が「ゲイ」だと聞き、俺らの観るときの眼光が半端じゃなかったことを納得。打ち上げに戻るとさらに場はカオスに。その空気に飲まれ、俺もベロベロに。豪さんと熱い話をしていたはずが、いつのまにか目の前で女の子が泣いていたりと、もはやエモバイオレンス。最後、お別れのタイミングで俺はハイエースから飛び降り、横須賀に残留決定。横須賀、そしてweaveが俺を返してくれなかった。ちなみに、このパターンで横須賀に残留した人間がこの世にもう一人いたとpumpkinのスタッフに聞く。bachoのキンヤさんでした。

オオツカリョウタ

2012.12.01

impulse records presents

大阪 心斎橋 PANGEA

OPEN 16:00 START 16:30 adv ¥2000 door ¥2500(+1drink)w / ANYO（大阪）/ curve（東京）/ CYBERNE（大阪）/ Look at moment（香川）/ mu-neujohn（大阪）/ nim（京都）/ SeaMeal（東京）

Motherのツアーの中で、今回のライブは大事な意味を持っているライブだった。インパルスツアーに参加させていただき、インパルス・レコードこと井川さんに感謝したい。今回のイベントとしては、インパルス・レコードに所属しているバンドでライブを行うといったイベントだ。Motherもアルバムをインパルス・レコードからリリースさせていただくことになり、今回のイベントに参加させていただいた。出会う前からつながっていた人たちと会う機会を作って頂いたのは、井川さんのパワフルすぎるフットワークと、井川さんを知っている人なら感じることができる信頼性が生み出した最高のイベントだった。その中で出会った人たちはこれ

からもMotherと一緒に音楽をやる上で頼りになる先輩や同期や後輩であり、偶然と必然が重なった唯一無二な仲間だ。Motherもこれから活動していく中で新たな目標を打ち立てさせるようなバンドたちだった。そして、Motherを演奏しながら、Motherとしての個性とは何かを考えさせられる一日であった。同じレーベルから出しているバンドだからといって音楽のスタイルがガチガチに縛られているわけでもなく、井川さんが好きな本当に素晴らしいバンドが出演していた。その中で、Motherの根源的な良さ、Motherでしかかきむしることのできない心の共鳴はなんなのか。それを発揮することで、Mother自体もっと成長できるのではないかと感じた。そんなことを考えながら、一生煮詰まらないであろうチャラさについて永遠討論を交わし、石川さんはタバコの銘柄が「キャスター」というチャラさ見出した。そして、Master peaceのドラマーこともっくんさんの家に泊まらせていただき、「出玉」というパチ屋みたいな外観のスーパーマーケットに出会うことになった。世にも恐ろしい色をしたうずらの天ぷら串や、あまりにも破格すぎる唐揚げ、セールでもないのに１０円単位で置かれているうどんなど、目に映るすべてに恐怖を覚えた。

コイズミユウキ

2012.12.02

impulse records presents

愛知　栄 TIGHT ROPE

OPEN 15:30 START 16:00 adv ¥2000 door ¥2500(+1drink)

w / THE ANCHORS (三重) / BLUE RAY DANCE (愛知) / curve (東京) / Low card dela morte (愛知) / N.E.K (愛知) / POP FROG (愛知) / room501 (愛知) / SeaMeal (東京) / wolf gang japan tour (北海道) / DANCEBEACH

12月2日 impulse tour 二日目、名古屋に向けて井川さんのベルファイアーに乗り込み大阪から出発。助手席にはシャチョウが座り、井川さんとドラムの話や、バンドの話、妖怪の話などをしていました。他愛ない会話が必然的に生まれるツアーの移動中、僕達はそれぞれの考えや互いが知らないこと、音楽以外の話題でさえ自分達の肥やしに出来たのではないかと思っています。会話の中には互いの人間性を知る切っ掛けが隠されていてメンバーがそれぞれにどんな人間であるのかということを更に想像することができました。それがバンドとしての自分個人の在り方や、MOTHER としての意識の共有に繋がっていくのではないかと思う。名古屋栄 TIGHT ROPE は派手なビルの三階部分にあり、ライブハウス自体の雰囲気は京都 whoopees のようで懐かしい気分になりました。我々の出番は長いイベントの序盤でしたが、ここ数回の内では一番いい内容のライブができたし振り返ればライブの質は日を追うごとに洗礼されてきているように思えた。個人的にはステージから weapons のケンタロウさんが爆ノリしているのが見えてすごくテンションが上がりました。その日の夜も名古屋にあるケンタロウさんの自宅に泊めていただいたし、僕達を泊めるために実家から布団まで用意してくれたし、翌日は二日酔いながら一緒にお寿司を食べてくれたし、本当に情に厚い方です。ケンタロウさん曰く、二日酔いにはカテキンの入っていない麦茶がいいらしいです。演奏を終えて物販に戻るとお客さんの何人かが声をかけてくれて、ひとしきり会話をした後、メンバー全員と握手をしてその後も楽しんで帰っていった。MOTHER のライブを褒めてくれたこと、嬉しそうに各人と握手していたこと、僕達の音楽を気に入ってくれたことが嘘だとは思えない反応に心底、励まされたし、自信になります。今ツアーでも有難いことにこういった光景はライブをする度毎回（謎に女子はだいたい大塚だけど）あって、皆さんがこれを読んでいる頃には今回のツアーはほぼ終わりをむかえていると思いますが、我々が好きであるなら是非話しかけてくれたらと思います。

テラダコウジ

2012.12.09

兵庫 神戸 BLUE PORT

OPEN 13:30 START 14:00 adv ¥2000 door ¥2500(+1drink)

w / bacho / ENSLAVE / the brown / HALAS / bal bas bow / 裸体 / ゆれる / Niard / Look at moment / Bulbousbow

午前 10 時、ツアー神戸場所の会場となる神戸 BLUE PORT へと向かうべくハイエースを走らせていた。12 時頃、BLUE PORT に入り時間ピッタリに到着。会場入りすると、続々と出演バンドが集まってくる。look at moment、bal bas bow、HALAS~、個人的に来ていた井川さんと再会し、look at moment タダケとコーヒーをしばきに行く。お互いの近況、ギターのこと等、話し込んでいるとスタート時間に。bal bas bow も HALAS~も look at moment もかなりいいライブをしていた。で、俺ら、演奏中こうじが鬱陶しかったのと、パフォーマンスも兼ねて、俺がかなり綺麗に蹴りを入れる。まあまあのライブ。こういったシチュエーションでの見せ方や、盛り上げ方等、もっと追及できたと思う。気付けばこの日初めて共演するバンド以外、かなり濃い付き合いをしているバンドばかりで、刺激にもなったし、かなり心強かった。ナカノさんに挨拶もでき、話すこともできた。

打ち上げも適度に、俺らは急ぎ足で京都に戻った。この日、実は俺ら、というか俺の兄貴分・3rd records/sewi 河野氏の結婚披露宴だった。披露宴にも２次会にもライブで参加できなかったのが悔やまれる。ちょうど２次会の片づけをしているところに到着、そのまま３次会へ参加させてもらう。すでに theorem ノリオカさんが出来上がっているし、theorem ガクワクさんはなんかホストみたいになっているし、全体的になんかチャラい。で、河野さんのいるテーブルで飲んでいると、根性焼きトーナメント勃発。俺、チャラオカさん、入谷、fog シゲさん、河野さんが負傷する。その後も焼酎イッキを続ける。キモオカさんは座敷内で告りまくって、

彼女を４人くらいつくっていた。始発で帰ろうとしている女子に改札口で告っていた。かなりキモかった。何はともあれ、河野さん、須釜さん、本当におめでとうございます。末永くお幸せに。

後日、ex.salt of life/with one accord ゆうき３も根性焼きトーナメントに巻き込まれて負傷していたことを執拗にアピールされ何とも言えない気持ちになった。

オオツカリョウタ

2012.12.15

葬は澪結 presents"「憂鬱な＿曜日 例３」 wakamiya/MOTHER/葬は澪結トリプルレコ発"

山梨 甲府 KAZOO HALL

OPEN 18:00 START 18:30 adv ¥1500 door ¥2000(+1drink)

w / 葬は澪結 / wakamiya / The Minx and Misanthrope / birth / ホワイトカメレオン

12 月 15 日 雪の降る甲州、東北を想定して、今回、二日間ドライバーを担当してくれた、関くんがいつもとは仕様の違う車を用意してくれた。見ず知らずの僕たちに車を貸すという普通なら快諾し難い条件を快く受け入れた車の持ち主である阿部さんに感謝するとともに、それを成立させた二人の信頼関係を美しく思いました。「関くんの信用したやつらだから、車、貸すよ。」このツアーの中でも印象深かった言葉の一つです。信頼関係の経緯をたどり、一時MOTHER のもとにやって来た黒塗りのハイエースによって、我々一行は山梨 KAZOO HALL へと無事到着することができたのでした。後日談になりますし、当然の話なのですが僕達は車を借りた前より奇麗になるよう洗車し、些細な土産物と CD を持って阿部さんのもとへお礼の挨拶に行きました。与えられたからには、その恩を自分たちなりに受け止め、でき得る最大限の形として返すということがバンド活動にも必要だと思う。ツアーの行く先々で僕達は様々な

恩を受けたわけですから、次は自分達がそれを返していく番であることを肝に銘じておかなければならない。山梨でのイベントは立命企画にも出演していただいたbirth、ツアー中curveに次いで多くの共演を果たしたwakamiyaなど関係の深いバンドとも一緒だったのですが、企画者である、葬は澪結を含むその他のバンドとは初共演となりイベントの内容、雰囲気がとても斬新であったと思いました。この日はジャンルレスにそれぞれのバンドが自信を持って音を鳴らしていた日程であったし、ジャンルは異なるが、音楽に対する情熱という部分では共鳴し合うことができ、新たな可能性を見出すことができた。MOTHERのライブは可もなく不可もなくといった感じで自分達の中では不完全燃焼という具合。運転を他人に頼まなくてはいけないこと、不甲斐無いライブをしてしまったことなど、個人としての力無さを実感することになった日でした。与えられたのですから、力をつけこの恩をきっちり返していきたいと強く想います。

テラダコウジ

2012.12.16

SONIC presents" START OF THE DAY "THE BATON" MOTHER "the living dead"

Release party"

福島 いわきSONIC

OPEN 16:00 START 16:30 adv ¥1500 door ¥2000(+1drink)

w / To overflow evidence / START OF THE DAY / SNORT / erie / I Believe in Hope / MELT

12月16日、今回のツアーでファイナルを除けばいよいよラストである福島県はいわきsonicでのライブである。前日の山梨での打ち上げの余韻も残りつつ、午前四時ぐらいに我々は福島へ向かった。ドライバーは前日に引き続き、コウジの友人であるking of チャラ男、関君であ

る。とにかく、今回の山梨、福島の遠征は彼と、我々のライブ映像の撮影等をしてくれたリッキー君の協力なしでは本当に成り立っていなかったように思う。というか、絶対無理だった。そして、山梨からは中央道が使えなくて下道通ったりなんだりでゆったり向かって、六時間ほどでいわきに到着。入り時間まで時間があったので、我々はとりあえず風呂を探すことに。車を少し走らせた場所にある健康センターへ向かった。到着。「よかったー、やってる。ん、なんかでも異様にデカいような。車も昼間なのに停まりまくってんな」なんて、思いつつ入ってみると本当にデカい。値段も大人 1400 円となんかすごいことになっている。この値段を見た時点でリッキー君は風呂を断念。よくよく調べると、この施設はトレーニング施設やプールなども完備していて、全部込みでこの値段ということであった。しかし、とにかくここ以外にはなさそうだったし、メンバー＋関君はここで入浴することに。風呂自体はいい感じだったが普通といえば普通。やはり、風呂だけだと割高感は否めない感じであった。そんな感じで、我々は健康センターをあとにし、飯屋を探すことに。だが、あまり飯屋がない。時間もそこまで余裕がなかったのでファミレスで済ます。そして、会場入り。リハしてからの、4時半過ぎにイベントスタート。茨城のバンドが何バンドか出ていて水戸出身の私は空気感を少し懐かしく感じたりもした。そして、今回我々がこの地に来るきっかけとなってくれた to over flow evidence のライブ。やはり、ホームで見る to over~は神々しかったし、本当に多くの人に愛されているバンドなんだなということを強く感じた。で、我々はというとお世辞にも良いライブとは言い難いようなライブをしてしまった。これで to over には大きな貸しができてしまった。本当に悔しい。to over 後藤さん、いつでも京都に引き落としに来てください。今ツアーで毎回使っているビデオカメラは大塚君が友達に無理をいって借りているもので、その電源を前日の山梨にシャチョウがベロベロに酔って勝手に充電→そのまま置き忘れる→大塚君の友達の都合的に月曜朝から必要だった→大塚君ブチギレといったことがあり、山梨まで取りに行くため、打

ち上げもほとんど出られず貸しを作りまくってしまった。今後何かしらの形で少しずつ返していきたい。

イシカワ　ユウキ

2012.12.22

MOTHER&BIGNOSE presents"First Meeting Agreement 番外編～MOTHER the living dead release tour 2012 final 京都編～"

京都 GATTACA

OPEN 17:00 START 17:30 adv ¥2000 door ¥2500(+1drink)

w / nim / DENOMI / johann / cowbells / mu-neujohn / theorem

予約者特典(先着順) : MOTHER/the living dead film stars(cardboard jacket ＋ tour DVD ＋ 解体新書#2 ＋ post card)

2012.12.24

NINE SPICES presents"MOTHER the living dead release tour 2012 final 東京編"

新宿 NINE SPICES

OPEN 17:00 START 17:30 adv ¥1800 door ¥2300(+1drink)

w / case arc / rookow / hue / not great men / curve

予約者特典(先着順) : MOTHER/the living dead film stars(cardboard jacket ＋ tour DVD ＋ 解体新書#2 ＋ post card)

MOTHER